

## JVA 第28回 全国ヤングクラブバレーボール大会 開催要項

本大会は、公益財団法人日本バレーボール協会の定める「JAPANバレーボール宣言」・「JAPANバレーボールWAY」、「指導における倫理ガイドライン」を熟知した指導者が運営し、プレイヤーズセンタードの理念に基づき活動を続けているチームのための大会です。

## (大会開催の趣旨：大会関係者の想い)

それぞれの立場で、様々な考えがある中、日本マナーの良い大会に！！  
選手・スタッフ・応援の方々【保護者】・大会役員・大会に関係いただく方々 皆さんが楽しめる大会になりますように！！

日本ヤングクラブバレーボール連盟は、1998年（平成10年）に第1回大会を大阪で開催して以来、現在まで27年にわたって、「バレーボールが大好きだけど、十分にプレーする環境がない！」という生徒等のセーフティネットの充実を基本とし、勝敗を競う楽しみはもちろん、それ以上に、スポーツを実施することの楽しみを感じてもらいたいという熱い想いを念頭に、全国各地において、より多くの生徒等が参加できるバレーボール環境の整備を目的に運営してきた。

本大会も、学校部活動を地域に展開していく過程で発生する、学校教育現場や地域での問題を、日本中学校体育連盟バレーボール競技部との連携を深めながら、円滑に解決していくことを目的に開催する。また、学校部活動等において、選手が望むバレーボール活動を十分に実施・継続することが困難な中、地域で、年間を通して定期的・継続的に活動を行っている「心からバレーボールを愛する全てのプレーヤー・チーム・スタッフ」の目標となる大会を目指す。そして、その中でも、参加を許可した方々には、我々に与えられた条件の中で最高のプレー環境を提供し、大会終了後は「もっとバレーボールがしたい!」、「もっと高度な指導がしたい!」、「もっと応援したい!」と感じてもらえる大会としたい。

また、本大会の開催を通じて、日本スポーツ協会公認指導者資格を有する、バレーボールをより楽しく、正しく指導できる指導者及びルールに精通した日本バレーボール協会公認審判資格を有する審判員の増加と活躍の場の提供を目指す。そして、その方々には「選手」と「スポーツの素晴らしさ」との出会いの場を提供することを楽しみとし、「支えるスポーツ」として、国の施策でもある、学校現場における「スポーツ環境の地域展開化」の先導役となり、地域社会に貢献し、活躍していただくことを切に願いながら本大会を開催する。

本大会は、公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会の事業計画に基づく大会です。

※本大会に参加する「監督・コーチ」は、公益財団法人日本スポーツ協会が養成する指導者[コーチ1以上]で構成することが必要です。また、本大会は相互審判で運営しているため、スタッフの内1名以上は、審判有資格者で構成することを強く要望いたします。

1. 主 催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本ヤングクラブバレーボール連盟  
読売新聞社 報知新聞社
2. 主 管 第28全国ヤングクラブバレーボール大会実行委員会  
大阪府ヤングクラブバレーボール連盟・和歌山県ヤングクラブバレーボール連盟
3. 後 援 スポーツ庁 大阪府 和歌山県 和歌山市 大阪府教育委員会 和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会  
【申請予定】 公益財団法人大阪府スポーツ協会 公益財団法人和歌山県スポーツ協会
4. 協 力 (株)YTE・(株)日本旅行・(株)フォトクリエイト・ミズノ(株)・和歌山商工会議所  
公益財団法人島財団
5. オフィシャル  
ボール 女子：ミカサ(V300W) 男子：モルテン(V5M5000)
6. 開 催 期 間 2025年 9月20日(土)・9月21日(日) 2日間  
代表者会議：9月14日(日) ZOOM利用したweb会議を行う。時間については、別途連絡を行う。  
レフェリークリニック：代表者会議後、ZOOM利用したweb会議を行う。審判担当者は参加すること。  
※体育館面数の関係から、9月21日(日)の最終試合終了時間は18:00頃と予測しています。
7. 会 場 大阪府立門真スポーツセンター（東和薬品RACTABドーム）  
和歌山ビッグホエール・ビッグウエーブ  
和歌山県立体育館  
和歌山市立市民体育館
8. 参 加 資 格 大会開催の趣旨に基づいて編成され、適切な指導のもと、年間を通じて、週単位で定期的・継続的に活動しているヤングバレーボールクラブで、次の各項に掲げる要件をすべて満たすクラブチーム。
  - (0) 大会運営について、別に定める「大会参加申込みにあたってのお願い」に同意し、実行委員会からのお願いや、大会独自のルール、宿泊幹旋等に積極的に協力することができるチーム。また、インターネットを通じて、基本的な情報のやりとりやZOOM等を利用した会議に参加可能なチーム。
  - (1) 14歳以下の選手で構成されたヤングバレーボールクラブチーム。  
ただし、選手の年齢基準は、2025年4月2日現在とする。  
日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された地域クラブチーム。  
日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された選手・チームスタッフ（相応の年齢）によって構成されたチームで、責任のとれる成人を代表者とするチーム。
  - (2) 各都道府県ヤングクラブバレーボール連盟から推薦されたチーム。  
ただし、28回大会においては、各都道府県バレーボール協会長が推薦するチームでも可とする。
  - (3) 選手募集要項・チーム団体の規約があり、当該クラブでの活動を希望する選手が所属可能なクラブチーム。学校の部活動単独チーム、特定の選手のみが所属できるチーム【選抜チーム等や特定の中学校のみの合併チーム等】及び明らかに学校部活動単独チームに近いチームの参加は不可とする。
  - (4) 同一カテゴリーにおいて、同一クラブの複数参加は不可とする。（実行委員会が認めた場合を除く）
  - (5) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認の指導者資格（コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4）のいずれかを有し、公益財団法人日本バレーボール協会の指導者カテゴリーに有効に登録されたもの者とする。  
※移行措置として、コーチは2025年10月1日付で有資格者となる場合、有資格者として認める。
  - (6) 相互審判を行うことができるチームであること。1名以上が審判有資格者であることを強く要望。

9. 参加チーム U14男子・女子 (MARINグループ：48チーム+SKYグループ：9チーム) 合計：114チーム
- (1) 都道府県ヤングクラブ連盟・都道府県協会の推薦する男女各1チーム。
  - (2) 上の(1)でMARINグループの予定チーム数に満たない場合、各連盟、各都道府県から補欠チームとして予め参加希望を募り、実行委員会において選考する。  
SKYグループは、補欠チームから実行委員会において選考する。
- その他 公益財団法人日本バレーボール協会・日本ヤングクラブバレーボール連盟が推薦するチーム。  
補欠チームからの選考について、以下の項目順に決定する。
- (1) 開催地ヤングクラブ連盟推薦チーム[最大1チーム]を優先する。
  - (2) ヤングクラブ連盟推薦チームを優先する。
  - (3) 締め切り時のJVAMRSへの都道府県別登録者数(ヤング連盟合計)を参考に選考する。
  - (4) 締め切り時のJVAMRSへの都道府県別登録合計チーム数(ヤング連盟合計)を参考に選考する。
  - (5) 一次申込書締め切り以降に推薦を行う連盟・県は上の(1)～(4)に関わらず1チームとする。
- 推薦団体へのお願い**  
「年間を通じて週単位で継続的に活動するチーム」、「選手募集要項・チーム団体規約があり、当該クラブでの活動を希望する選手が所属可能なチーム」、「学校部活動で本人が希望する十分な活動ができず能力を発揮することのできない生徒・学生が中心であるチーム」等、本大会の趣旨を踏まえ、チームをご推薦ください。
10. 競技規則 現行の公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
参加チーム数により本大会独自のルールを採用する場合があります。詳細については、大会ホームページ(大会HP)・レフェリークリニック・代表者会議で通知する。  
本大会では、決勝トーナメント決勝を除き、21点制とし、デューズ制は採用しない。また、すべての試合において3セット目は15点までとする。  
試合間は5分間の合同練習とする。  
リベロは、チームの他の選手と**対照的な色**のユニフォームを着用すること。  
**ピブスの着用は認めない。**(負傷等によるリベロの再指名の場合を除く)
11. 競技方法 (1) 各種別とも参加チーム数により競技方法を定め、事前に大会HPで通知する。  
(2) 抽選は、実行委員会の代理抽選とする。  
(3) 参加チーム多数の場合は、**1日4試合行う可能性がある**。また、27回大会までのように両日の試合を保証できないことがある。  
※チームの人数・構成に配慮ください。  
**(選手の安全確保のため、少人数チームの参加は認めないことがあります。)**
12. チーム構成 (1) 1チームの人数は、部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター各1名と選手18名の計24名以内とし、選手18名のベンチ入りを認める。ただし、リベロは最大2名までとする。  
(2) 大会実行委員会が認めた場合を除き、競技中、コート上の6人の選手は、同一学校の選手のみとなることは認めない。もし、違反が確認された場合、その時点で没収試合とする。  
(3) 審判員(有資格者を強く要望)を帯同すること。  
**※早期に日本バレーボール協会公認審判員【いずれかの資格】とします。ご準備ください。**  
<https://www.jva.or.jp/referee/license/>  
審判担当者は、レフェリークリニックに必ず参加すること。  
(4) スタッフ1名は、1チームの所属とし、チーム内で1役職とする。同チームまたは別チームのスタッフとして兼任はできない。【同チームの部長兼監督・別チームの部長の兼任等】
13. 参加申込み (1) 大会HPから申込用紙をダウンロードし、**一次申込書及びJVAMRS選手加入一覧**を郵送すること。その際、「**大会参加申込みにあたってのお願い**」を熟読し、**同意の上申し込むこと**(意見・不明な点がある場合は、申し込み前に必ず問い合わせること)。  
〈締め切り・申込み・問い合わせ先〉  
一次申込書締め切り：**7月18日【必着】**  
〒572-0016 大阪府寝屋川市国松町2-3-6 国松郵便局留置  
大阪公立大学工業高等専門学校 橋爪 裕  
[volleyball@email.plala.or.jp](mailto:volleyball@email.plala.or.jp)  
090-8524-1574 (携帯電話)
- (2) **推薦団体を確認するため**、各都道府県ヤング連盟が設立されている場合はヤング連盟印、ヤング連盟が設立されていない場合は都道府県バレーボール協会印を押印すること。
  - (3) 出場決定後は、大会参加にかかる詳細を定めた実施要項を参照の上、出場手続きを行うこと。(参加チーム決定後、大会HPに掲載する。8月初旬を予定)
  - (4) **原則として、一次申込時と二次申込時の選手は同一とするが、登録選手の転校やけが等、やむを得ない事情があり、推薦団体及び大会実行委員会が承認した場合は変更を認める。**
  - (5) 二次申込書提出後の選手変更及び背番号の変更は認めない。
  - (6) 二次申込み(8月中旬)までに、プログラム掲載用として、参加者全員の集合写真(データ)を準備しておくこと。※1M以上(10cm×6cmで顔が判別できること)、選手全員+スタッフ・**ユニフォーム(背番号一致)**。※合成写真不可。  
※毎年、写真の期限までの未提出や不十分な写真の提出があり、役員の作業に大きな影響を与えております。
14. 参加料 1チーム 20,000円。
15. 空調費 空調費として、参加料と同時に12,000円を徴収する。
16. 開会式・閉会式 28回大会では開催しない。
17. 表彰 男女上位チーム及び優秀選手・スタッフを表彰する。表彰対象の詳細は代表者会議で案内する。

18. 宿泊 原則として、宿泊を伴うチームは、大会中の感染症や台風襲来、地震等、不測の事態発生時における大会本部との連絡調整や安全・安心等の観点や、役員の作業軽減、今後の安定した大会運営をの観点から、**大会公式宿泊を利用すること。**
- ※ 詳細は大会HPで連絡します。
  - ※ 様々なお考えがあり、それぞれのお考えに合理性があることも理解しておりますが、保護者を含め、参加者のご理解を得た上でお申し込みください。ご協力くださいますようお願いいたします。また、ご意見・ご不明な点は、一次申込み前にご連絡ください。
19. その他
- (1) ユニフォームは、JVAの「ユニフォーム規程」に定められたものとする。
  - ※ JVA公認・推薦企業商品以外のものを着用または使用する場合は、プロトコールからゲーム終了までは、原則として、マニファクチャード・ブランド名・シューズであれば企業を連想させるライン等を隠すこと。
  - ※ ユニフォームに広告等を付ける場合は、JVA「ユニフォーム規程」及び別途定める「ユニフォーム広告に関する規程」に従うこと。
  - (2) 参加チームに、副審（有資格者を強く要望）・補助役員（線審・点示員・記録員）の割り当てを行う。
  - (3) 特別な理由があり、申込期限後に予選を行う予定の都道府県連盟は、事前に問い合わせ先まで連絡すること。
  - (4) 選手は、大会前に健康診断を必ず受けること。なお、選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、十分管理すること。
  - (5) 体育館内の傷害に関して、参加者全員（選手・スタッフ）を対象に、主催者が下程度の傷害保険に団体加入する。  
(保険加入内容：予定) ①死亡・後遺障害 8,000,000 円程度  
②入院（日額） 3,000 円程度  
③通院（日額） 2,000 円程度
- 大会実行委員会幹旋の国内旅行傷害保険に加入する等、大会期間中（体育館外を含む）の事故対応として、各チームで十分な対策をとり、保護者・選手に対して事前に保険加入内容を説明すること。**
- (6) 選手・スタッフのけがについては、看護師による応急処置・救急車の要請はするが、上の加入予定傷害保険以外、一切責任を負うことができない。事前に関係者にも周知すること。
  - (7) **体育館への来館は、公共交通機関を利用すること。**  
**やむを得ない事情があり、バスで来館する場合は、別に定める規則に従うこと。（大会HP掲載予定）**
  - (8) 大会に関する動画や写真・対戦のコメント等を掲載しないこと。
  - (9) 提供された個人情報や大会中の写真は、プログラムやHP等、また、次年度以降の大会運営に利用する。公表に同意しない場合は、チームを通じて申請すること。
  - (10) 大会に関する連絡や変更は、日本ヤングクラブバレーボール連盟28回大会ホームページで行う。  
<http://jycvf.com/>